

平成16年11月17日

各位

会社名 ジャニス工業株式会社  
代表者名 取締役社長 井上 光弘  
(コード番号 5342 名証第2部)  
問合せ先 経営管理部長 井上 謙二  
(TEL 0569-35-3150)

## 「中期経営計画」策定に関するお知らせ

当社はこのたび、平成19年3月期を最終年度とする「第1次中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景

当社は、平成14年6月に現社長が就任し、「破壊と再生」をスローガンに「破壊」の部分を中心とした施策を進めてまいりました。具体的には、平成15年6月に実施した希望退職、平成16年3月期における固定資産減損会計の早期適用、平成16年4月に決定した下水道用セラミックパイプ事業の撤退、平成16年6月の定時株主総会において承認をいただいた資本準備金の欠損てん補及び無償減資等でございます。こういった一連の施策により、「破壊」についてはほぼ終了し、財務体質の健全化と黒字を出せる体質への転換ができてきたことから、今後は「再生」に向けた経営基盤を構築すべく、平成16年10月から平成19年3月までを対象期間とした「第1次中期経営計画」を策定いたしました。

この「第1次中期経営計画」においては、「人にやさしい快適な生活環境づくりに貢献します」を経営理念とし、大手企業にはできない当社の強み・特長を最大限に活用し、戦略を実践してまいります。

#### 2. 基本方針

- (1) 衛生機器部門においては、小回りがきくメーカーの強みを生かし事業規模の拡大を図ります。
- (2) 建材部門においては、地球環境保護をテーマとすることにより、公共投資が冷え込む中で売上を確保し、黒字化を目指してまいります。
- (3) 遊休資産の売却等により、借入金の圧縮、財務体質の健全化を図ってまいります。

#### 3. 業績目標

【平成19年3月期業績目標】(単位：百万円)

売上高	5,450
営業利益	360
経常利益	300
当期純利益	270
総資産	7,200
株主資本	3,500
借入金	1,100

#### 4. 各事業の主要施策

##### (1) 衛生機器部門

【売上計画】 (単位：百万円)

	16年3月期	19年3月期
衛生機器部門売上	4,560	4,750

【主な施策】

大口顧客別の営業体制にシフトし、営業力を強化した上で、ハウスメーカー・ホームビルダー等への販売を強化する。

三次元CADの導入等により商品開発力の向上させること、及び衛生陶器工場におけるOEM生産能力拡大することにより、OEM対応力を向上させ、大口OEM販売先の売上を増強するとともに、新規に化粧台・洗面器OEMを獲得する。

リフォーム・リニューアル市場へ参入する。

JIT(ジャスト・イン・タイム)生産システムを導入し、顧客寄りの生産を実施するとともに、コストダウンを図る。

品番統合による効率向上により材料費のコストダウンを図るとともに、化粧台組立ラインのセル生産化等により生産性を向上する。

##### (2) 建材部門

【売上計画】 (単位：百万円)

	16年3月期	19年3月期
景観材事業	845	600
新規事業	9	100
建材部門計	854	700

【主な施策】

透水性舗装材「タフポーラ」について、ヒートアイランド対策などの機能をアピールし、販売を強化する。

点字陶板のOEM販売を拡大する。

断熱・融雪等の機能を重視した陶板の開発を強化し、拡販する。

産業廃棄物中間処理業を最大活用し、原材料費のコストダウンを図るとともに、リサイクルブロックの産業廃棄物排出企業への販売を実施する。

光触媒関連製品・河川事業関連製品等を商品化し、販売する。

##### (3) 全部門共通事項

【主な施策】

遊休資産の売却等により借入金を圧縮する(平成19年3月末借入金11億円)。

人事処遇・評価制度の革新、計画的な業務ローテーションの実施、外部研修等により、人材力の向上を図る。

間接部門での業務改善を進め、生産性の向上を図る。

以上